箱根組ニュース

第287号　2016年　10月号
編集発行人　戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

白馬岳三泊、栂池から山頂の尾根、鑓温泉の露天湯を堪能、後半の雨にも負けず無事に下山。

９月１６日（金）、新宿駅発７時３０分のあずさ３号に乗車。大阪から参加の三上さんが松本駅で乗車合流。ということで参加者は神吉、有倉、三上、川名夫人、和田、及川、戸丸の７名。

１１時２８分、白馬駅に到着。当初予定していた大雪渓ルートは雪不足で通行禁止になり１週間前に山小屋を栂池ヒュッテに変更した。

タクシー２台で栂池高原のゴンドラ駅まで行く。秋の気配の高原に到着。手前のベンチで各々持参の昼食。荷物を軽くしようとおいしい惣菜やフルーツ（マスカット）がさっそく登場。

１２時半、６人乗りのゴンドラリフトに２台に分かれて乗り込む。２０分ほどで到着。少し歩いてロープウェイ乗り場に、こちらは大きな７１人乗りというものだ。１０数名ほど乗っていただろうか。乗務員のアナウンスもついている。珍しいアオモリトドマツの青紫色の松ぼっくりも紹介された。

ロープウェイを降りて森の中のなだらかな坂を登ってゆくと大きく立派な栂池ヒュッテが現れる。奥にも二つ大きな建物がある。一番手前が我々の泊まるヒュッテだ。山小屋と思っていたらとんでもない、４階建てのホテルといったところだ。２時のチェックイン迄に少し時間があるので荷物を置いて散策に出る。

宿からすぐ先が栂池自然園。すべて歩くと３時間以上はかかるらしいがとりあえず１時間ほどの予定で出発。入場料３００円を支払いのんびりと木道を歩く。秋の湿原もいいものだ。時折さす日差しと軽い体で話も弾む。かなり奥の銀命水まで行って戻ってくる。浮島湿原には小さな浮島が紅葉をバックに浮いていた。いつの間にか２時間以上も歩いていたらしい。

４時頃部屋に入る。お風呂は期待していなかったのでとてもうれしい。ぬるめのお湯につかり夕食。ジョッキのビールにローストビーフ。

９月１７日（土）、４時起床。今日は山頂を目指すコースだ。

身支度をして５時頃外に出る。朝焼けだ。入念に体操をして５時２０分出発。少し登るとヒュッテの向こうの青空の下に白馬三山の尾根がくっきりと見える。

５時４０分、東の山の陰から朝日が顔を出した。登るにつれて里の景色も見えてくる。雲海がたなびき墨絵のような濃淡の山並みが美しい。八ヶ岳と南アルプスの二つの山塊が南方向にはっきりと確認できる。

６時３２分、銀嶺水。ナナカマドが赤く色づいている。大きな岩を越えて湿原に出る。ここが天狗原だ。標高２１００ｍを越える湿原だ。

７時５分、ベンチで朝食。風が寒い。

７時３４分、風吹大池分岐左。乗鞍岳７０分とある。大きなゴロゴロとした岩を越えて○印を頼りに登ってゆく。振り返ると今まで見えなかった新潟の妙高方面の山並みが見えてくる。大きな岩だらけの険しい登りだ、天狗が飛んでいるのが見えるようだ。

８時５３分、ピークを越えて岩とハイマツの原に出る。少し行くと山頂のケルンがある。

９時１３分、ここが乗鞍岳だ。少し進むと大きな池が見えてくる、池の向こうには赤い屋根の山小屋。白馬大池だ。想像以上に大きい池だ。周囲はカラフルな秋の色に染まり始めている。チングルマの綿毛が沢山揺れている。

９時５９分、白馬大池着。ベンチで休憩。１０時２０分発。右に行けば蓮華温泉だ。小蓮華山に向かうなだらかな

切手残数
８２円切手　１３８枚

現在の収支
繰越　30765 円
収入　0 円

支出
印刷費　1000 円
コピー代　400 円
現在高　29365 円

１０月２２日（土）寄居風布みかん山に行きます。

ラクダコース　歩行約３時間

秩父鉄道波久礼駅から風布川沿いに風の道歩道でみかん山を目指します。帰りは同じ道を戻ります。

※味噌汁を作る予定です。

○持ち物　昼食、飲料水、非常食、食器、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

申し込みは　１０月２０日（木）までに

集合　１０月２２日（土）
東武池袋駅 7：45発 急行小川町行き
（前から3両目車内）
途中駅発　成増 7:55 和光市 7:57
朝霞台 8:02 志木 8:04 ふじみ野 8:10
川越 8:16 川越市 8:18 坂戸 8:29
東松山 8:39
小川町 8：54着（乗り換え）8:56発
寄居行き 寄居着9：12(秩父鉄道乗換)
9：21発 三峰口行 波久礼 9：26着

交通費　池袋～波久礼　片道1060円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066
携帯メール：satorutomaru@gmail.com
メール：tomarusatoru@hotmail.com
箱根組ホームページ
http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

雷鳥坂を登ってゆく。少し登ると小蓮華山の尾根がくっきりと見えてくる。振り返れば白馬大池と小屋までの尾根道。

１１時２７分、船越ノ頭着。見晴らしがいい。小蓮華と白馬の左奥に剱岳らしき尖った形も見える。尾根に一輪、絵になるイワギキョウが青紫に咲いている。目の前に伸びる白くうねる尾根道をコツコツと上ってゆく。左側には主役の白馬岳の山頂も見えてきた。

１時３５分、２７６６ｍの小蓮華山着。別名大日山。新潟と長野の県境にあり新潟県の最高峰。ここで遅い昼食。目の前には白馬山頂と右側には雪倉岳。

昼食後、記念写真を撮っていると雨がまばらに落ちてくる。用心して雨具を付けて完全装備に。

１時５０分出発。白馬山頂にはガスがかかっている。雨はすぐに止んできた。

２時４５分、三国境分岐。新潟、富山、長野を股にかけている感じだ。標高が上がるとガスが濃くなる。

３時５０分、白馬岳山頂に到着。小雨の中を下ってゆく。

４時、白馬山荘に到着。休憩含めて１０時間４０分の行程を全員乗り切った。個室を取っていて本当に良かった。８畳ほどの部屋に7人でゆっくりすることができた。乾燥室に衣類をかけたり、明日の準備をして夕食。消灯後も夜は強い風と雨の音が続いていた。

９月１８日（日）５時半過ぎ朝食。完全装備の身支度をして7時発。台風に刺激された低気圧の影響で雨と風が強い。それでも風は昨夜よりは収まっている。

目標を「全員無事に下山」に変えて、白馬三山の残り二山の山頂はすべて巻くことにした。尾根道の2時間２０分の雨風をクリアできれば鑓温泉への下りの道になる。そうすれば風は緩やかになるだろうと読んで無理をしないでなるべく早く尾根を通過したかった。写真を撮ることもやめた。時折強い風も吹いた。雨も強く降ることもあったが止み間もあって尾根のきれいな景色も見えた。杓子岳と鑓ヶ岳を無事巻いて少し行くと尾根道のすぐ横につがいの雷鳥を発見。雨の日のプレゼントだ。鑓温泉への分岐を降りてゆくと急に硫黄のような温泉のにおいがしてきた。下ってゆくと今度は小さめの４羽の雷鳥がのんびりと何かの実を食べている。

いくつかの鎖場を越えて3時頃無事に白馬鑓温泉小屋に到着。大部屋だが２階の片側を占有出来て快適でした。雨の温泉もいいもので、広い露天風呂でタオルを頭に、足を延ばして疲れをいやした。翌朝も暗いうちにまたお湯に入った。

９月１９日（月・祝）猿倉に向かう。雨で道路が通行止めになることもあると言われて覚悟して出かける。７時発。雨が登山道を沢のようにしていたが、全員無事に降り切った。

１時、猿倉に到着。タクシーで白馬駅へ。無事についてほっとして、駅のホームでビールと山小屋のお弁当を頂く。

２時半過ぎのあずさの新宿行に乗車。三上さんは少し後の名古屋行しなの号で大阪へ。

いつか大雪渓経由で挑戦したい。雨の洗礼を受けたが充実の４日間だった。